

ヒアリング、農協青年部女性部など様々な団体に向向いて説明した。

深澤委員 これは問寒別の話で幌延町民には、ほとんど情報が入ってこない。

町長 広報紙でもこの流れは説明している。ハードルの高いNPO法人ができたことを歓迎してほしい。

(4)総務企画課所管
交流拠点基本構想策定に係る進捗状況について

現在創生会議の構成団体と懇談を進めている。5月8日までに19団体のうち10団体を終えた。20代30代の方々との懇談も進める。

齋賀委員 運営主体は誰か。
山本総務企画課参事 構想段階では決まっていない。社会福祉協議会、商工会とも意見交換をしたい。

(5)教育委員会所管
幌延町小中一貫教育校基本構想等について

小中一貫校の建設工事基本設計業務の委託業者選定方法は公募型プロポーザル方式を採用。選定委員は学識経験者2名、住民代表3名、教育長、職員5名以内

と考えている。基本設計委託料7千913万4千円。事業費は60億円超と想定している。北海道に事前確認したところ、2分の1の補助金は厳しいと回答があった。

深澤委員 改修でも60億円なのか。

伊藤教育次長 他町の例では、増改築だと新築の半分ぐらいの整備単価。

深澤委員 住民向け説明会で、反対意見があると聞いているが、その対応は。

教育長 基本設計を進めるに当たり、地域住民の意見を聞きながら、学校を造っていききたい。何回も対話を通して理解を深めたい。



第5回 まちづくり常任委員会

令和6年6月6日

調査事項

(1)総務企画課所管

防災備蓄庫整備事業について

事業費 防災用備品315万7千円、消耗品12万4千円

設置場所 役場庁舎北側の車庫の隣接地

事業内容 延長6.1m、幅2.4m、高さ2.6mの海上コンテナ

西澤委員 今後、増やす想定は。その場合の設置場所は。

早坂課長 体育館や学習センター等に防災備蓄庫を設置する考えもある。

(2)保健福祉課所管

社会福祉法人幌延福祉会 特別養護老人ホームござくら荘における職員等の処遇改善加算について

国が処遇改善加算を手当として支給し、それにより人材を確保し、現場で働く職員の離職を防ぐのが目的。

西澤委員 加算分は、町が補填しなければならぬのか。

島田課長 町が補填しなければならぬ。

高橋調秀之委員長 ござくら荘への補助金が増え続け、施設側も改善・努力していると言っているが、必要な施設であり、今後も継続して支援していかねければならないと考えるが、法人はどのように考えているのか。

島田課長 経営改善は過去にも種々検討されている。町補助金の減額は、現状、難しい。担当課としては、ござくら荘の利用が少なくなると、町からの赤字補填が増えるということになる。検討しなければならぬ。

(3)住民生活課所管
地域コミュニティ形成事業 業関連予算案について

深澤委員 6月下旬に法人化の認可がおりるという説明があったが、予算案だけ計上され、認可されなかった場合、どうするのか。

山下課長補佐 7月末までに、その可否が判断される。

法律に沿って規約等が整備されているか形式的な審査なので、不認証はないと考えている。

深澤委員 予算案は、町頼りの予算案。収入源は草刈や地域デマンド交通とあるが、草刈、除雪、公共施設の管理などは、今までは民間業者に委託されていた。以前の委託業者が納得してこの事業計画なのか。

山下課長補佐 地域の事業者がサービスとして提供できていた部分ができなくなっている現状があり、地域でできることは地域の事業者というのが基本的なスタンス。できない部分をフォローするのが、このNPO法人のコンセプトの一つ。

深澤議員 町の予算案は474万8千円だが、この法人の総事業費はいくらか。

山下課長補佐 474万円は運営費の補助で、ほか、会費や寄附金などの自主財源もある。

深澤議員 自主財源を含めた事業費の総額は。

山下課長補佐 NPO法人の認証申請の活動予算では、